

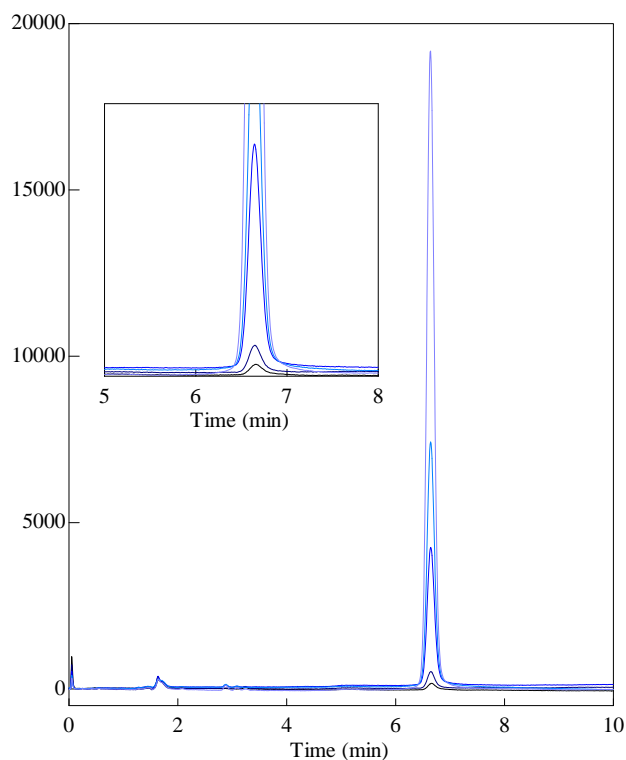
ヒノキチオール Hinokitiol

ヒノキチオールは、ヒノキなどから抽出される天然の抗菌成分として幅広く使われています。金属との配位結合性が高いため、HPLCでの分析の際にはカラムや配管等に吸着しやすいので注意が必要です。ここでは、ヒノキチオールを0.1~2 mg/Lの範囲でHPLC分析し、検量線を作成したところ、相関係数は0.9919で、検出限界は0.01 mg/Lでした。L-column2 ODSはこのような金属と配位結合しやすい物質においても低濃度まで良好なピーク形状を示し、定量性も高くなっています。

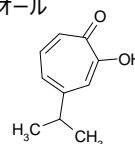
Key words : ヒノキチオール 配位性化合物
Column : USP category: L1

[Analytical conditions]

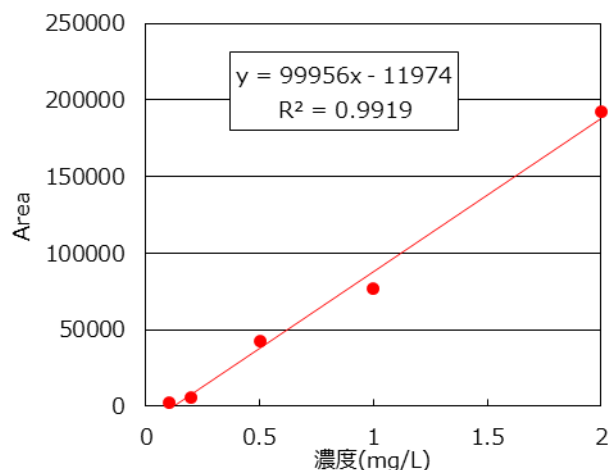
Column : L-column2 ODS (C18, 5 μ m, 12 nm), 4.6 mm I.D. \times 150 mm L.; Cat. No. 722070
Eluent : CH₃CN/20 mM H₃PO₄ in H₂O (40/60)
Flow rate : 1 mL/min
Temperature : 40°C
Detection : UV 240 nm
Injection volume : 10 μ L
System : -



Sample:
Hinokitiol (0.1 mg/L~2 mg/L)
ヒノキチオール



Sample solvent: CH₃CN



2007.05